2025. August
vol.40

ひろげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート

犯罪被害に遭われた方 こんな事で悩んでいませんか？

事件のことを思い出して眠れない

仕事に行けずにこれからの生活が不安

法的な手続きがわからない

どこに相談したらいいかわからない

裁判が初めてで不安だ・・・

今後の具体的な対応を相談したい

苦しいとき、助けが必要な時、抱え込まずにご連絡ください。

兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口

TEL 078-360-0783（ゼロ ナ ヤ ミ）

開設日時：平日 9:00～17:00（土日祝日・年末年始は除く）

兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口の WEB サイトはこちら ⟶
https://www.vc-center.net/

犯罪被害に遭われた方の相談を受け、内容に応じて法律相談・心理カウンセリング実施機関や性犯罪被害専門支援機関、警察など適切な支援機関につなぎ、切れ目のない支援提供を行います。まずはご相談ください。

発　行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局
〒650－8567
神戸市中央区下山手通５－10－１　兵庫県県民生活部くらし安全課内
電話（078）362－3173　FAX（078）362－4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。
（このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。）

安全安心な小松町を目指して

小松町自治会（西宮市）

地域全体で防犯活動

明石防犯協会（明石市）

Report. 1

安全安心な小松町を目指して

～ 小松町自治会 ～

小松町のためにできることを

当会は小松小学校区を拠点に、「小松町に住んで良かった」を合言葉とし、約20名が年代や職業を超えて協力しながら活動しています。登下校の見守りには、各７町会から計40名が参加し、児童の安全のため、通学路を毎日見守っています。

また、住民一人ひとりの危機意識と連帯感を高めるため、月１回『小松町自治会だより』を全戸に配布し、防犯情報や地域行事の予定を共有しています。さらに、自治会の掲示板５箇所にも自治会だよりなどを掲示していますが、防犯意識が低い町と見なされないよう、掲示期限の切れた案内は即時撤去しています。週１回防犯灯も欠かさず点検し、犯罪者を寄せ付けない環境づくりを徹底しています。

特殊詐欺被害防止活動

当会は日々多彩な活動を行う中でも、とりわけ「特殊詐欺被害防止」に力を注いでいます。

甲子園警察署が実施する『特殊詐欺被害防止100日運動』には、令和５・６年度の２年連続で小松町自治会として参加し、「100日間被害ゼロ」を目標に自主的な取り組みを展開しました。

具体的には、高齢者宅への戸別訪問、特殊詐欺講習会の開催、金融機関周辺での防犯キャンペーンなどに取り組みました。また、被害の背景には「自分には関係ない」という意識の低さがあると考え、高齢者の危機感を高める方法を検討した結果、「子どもの呼びかけなら耳を傾けやすい」という意見が出ました。

そこで自治会役員・子ども会・甲子園署交番勤務員が『地域の絆で特殊詐欺被害防止！』と、のぼり旗を掲げ、子どもたちが「孫の私を不幸にしないで」「大切なお金をだまし取られないで」などユニークな言葉で呼びかけながら街頭パトロールを行いました。

令和６年度の100日運動終了式では、活動内容と成果を報告し、取り組みを通じて住民の信頼と地域の絆が強化され、特殊詐欺被害防止の機運が高まったことを発表しました。今後もこの活動を各種団体と力を合わせて継続し、強力に進めることで、被害のさらなる減少を目指します。

グループの紹介

市や警察等の関係機関と連携を強化しながら、各種防犯活動に取り組んでいます。特に特殊詐欺被害防止活動に力を入れて活動し、地域住民の意識向上に貢献しています。

このような活動が評価され、「令和６年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。

Report. 2

地域全体で防犯活動

～ 明石防犯協会 ～

25支部各々の啓発活動

明石防犯協会には25支部があり、各支部が独自に啓発活動を展開しています。子どもの見守りやパトロールを担う防犯委員は約700名、少年の補導を主に担当する少年補導員は約100名が所属しています。

防犯委員の多くは登下校の時間帯に児童を見守る「スクールガード」を兼任し、毎日通学路に立って見守り活動を行っています。

特殊詐欺の予兆電話が確認された際に青色パトロール車で巡回し、車内から声掛けを行いながら注意を喚起するといった取り組みも実施しています。

個人レベルでも、日々の散歩などで「ながら見守り」を推奨し、地域の美化活動とあわせて防犯意識の啓発を進めています。

様々な繋がりから防犯の活性化へ

明石市のすべての小学校区には、自治会・高年クラブ・PTA・子ども会・ボランティア団体などが連携する『校区まちづくり協議会』が組織され、地域の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいます。明石防犯協会も各団体との情報共有と連携を深めるため、この協議会に参画し、小学校区単位で活動を展開しています。

協議会では多様な部門と協働し、防犯活動のほか、防犯協会の取組を紹介する地域イベントや講習会を開催し、見守り活動の参加者が減少する中で、若い世代に関心を持ってもらい、安心して参加できる仕組みづくりに力を入れています。

また、月１回開かれる「明石市地域防犯施策会議」では、市関連団体と明石警察署が集まり、防犯対策や犯罪情報を共有しています。

警察と連携し、特殊詐欺・薬物乱用・自転車盗難被害防止キャンペーン、防犯カメラ設置促進など多様な事業も進めています。今後も地域に愛される防犯団体として、住民一人ひとりが安全を実感できるよう、啓発活動を一層推進していきます。

グループの紹介

長年にわたり、市、警察等の関係機関と連携を図りながら、特殊詐欺、非行、薬物乱用防止など様々な分野の防犯活動に取り組んでおり、約200の企業・団体・個人様からご賛同いただいています。

このような活動が評価され、「令和６年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。